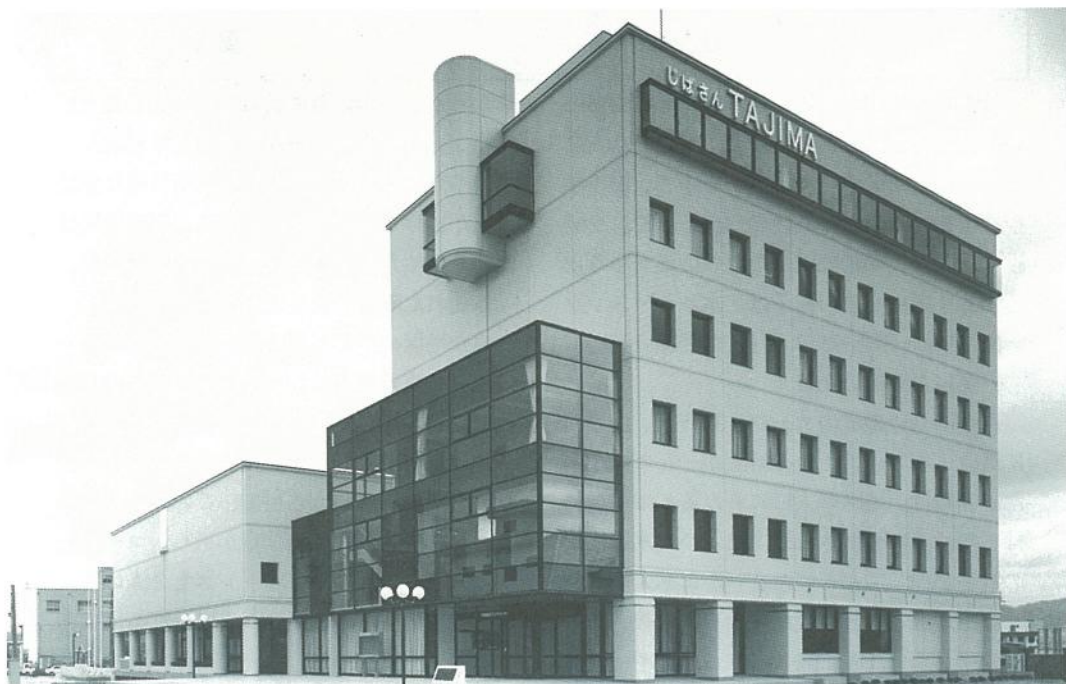


# アルパックニュースレター 地域計画・建築研究所



TAJIMAじばさんセンター・豊岡靴会館・  
豊岡商工会議所会館・今年4月開館致しました。

---

## アルパック ニュースレター もくじ

---

- 鉾山閉山から2年半 — 明延地区の再生始まる ..... 2
- 長田野よりの報告 ..... 5
- リゾート計画に思う ..... 7
- 文化の仕掛人を訪ねて（その1） ..... 8
- 人工カヌースラロームコース ..... 9
- 新人紹介 ..... 10
- 新刊旧刊書評紹介 ..... 11
- まちかど ..... 12

NO. **38**

## 鉾山閉山から2年半ー

### 明延地区の再生始まる〔兵庫県大屋市〕

重本 幸彦

日本有数の近代技術を誇った明延鉾山が円高の影響で閉山されてから2年半、900人だった人口が三分の一に減少する中で、旧小学校校舎を活用した「あけのべ自然学校」を開設するなど、明延地区は再生への道を歩み出した。（閉山直後の様子は、本ニュースレター№23号一昭和62年5月一で既報）

#### ー変じた地区の光景

車が川沿いの道のカーブを曲ると、目の前に造成工事の黄土色の斜面が一杯に広がった。当時は、地区の入口にあたるこの付近には、階段上に整地された上に古びた木造長屋の社宅が押し並んでいた。いかにも人里離れた鉾山地区という景色だった。閉山後、そこに雑草がおい茂り、無人になった社宅はやがてつる草の波の底に沈んでしまうのではないかと思わせる荒涼たる光景だった。

地区の第一印象を決める入口地帯を始めとする老朽社宅の撤去をー明延地区の振興計画を大屋町から委託されていた我々調査計画スタッフは提案の中で強調した。

地区再生対策の1つとして、兵庫県は手狭だった県道を通り無人となった地区内にバイパスさせることにしていた。造成工事はそのためのもので、工事に伴い一帯の老朽家屋も取り

#### 町立喫茶店



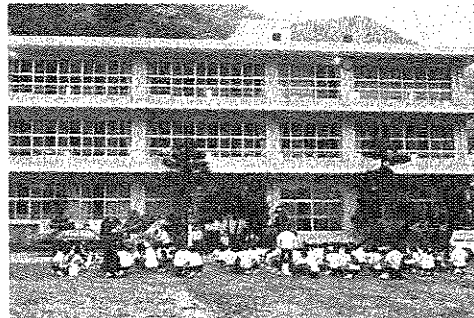
除かれた。2年ぶりに訪れて、斜面を見上げると、あたかもニュータウンの工事現場だった。やがて、りっぱな道路と利用可能な整地地盤が出来るのだろう。「ああ、明延地区は変わり始めたナ」そんな印象をまず受けた。

#### しゃれた町営「喫茶店」

車が地区の中心に至ると、旧県道と新設バイパスの交差点に、バステルカラーのしゃれた建物が新しく出来ていた。明延振興館「一元電車」というのが正式名称であり、住民の交流の場という名目で、この春オープンした。中には住民サロン室があり、コーヒーが飲めるが、若いウェイトレスも2人いて、どう見てもーというより本当はー喫茶店である。

閉山に伴い鉾山会社経営の共同浴場などが次々と閉鎖される中で、地区に残った人々は“たまりの場”を失っていた。ちょっと集まる所が欲しい、県道バイパスが整備されて交通量も増大するだろうから喫茶店でも経営できないか。こんな地区の人々の願いを込めて食堂・喫茶・売店などから成る地区のセンターとなる館を、我々は計画の中に盛り込んだ。まさに、当時みんなでイメージしたそのものが、立っていた。

#### あけのべ自然学校（旧小学校）



町が国の補助金を受けて建設し、管理・運営は、地元の人々が受託というやり方である。喫茶店の窓からは、入口の前に飾られた“一円電車”が見える。現役時代には、一般客を一円の運賃で山向うまで運んだというこの鉱山電車が、子供たちを乗せて再び走る日がもしかすると来るかもしれない……振興館の中にいるとそんな気がしてくる。

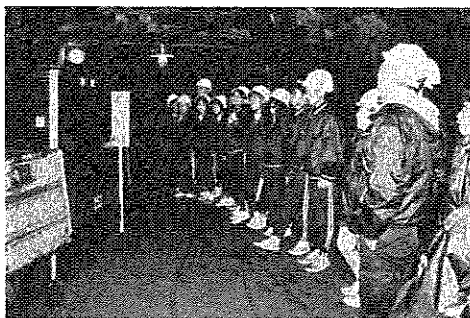
#### 半年で7,000人が宿泊—自然学校

昨年廃校になった旧明延小学校は、鉄筋3階建て校舎と体育館・プールなどがあるりっぱな学校であった。あけのべ自然学校は、これらを利用して今年5月から、兵庫県下や大阪府下の小中学校からの子供たちを受け入れている。これも正式には集団宿泊教育共同利用施設といい、かつての教室は畳敷きの部屋や食堂、風呂に改造されている。これも町教育委員会が設置、地元が管理・運営という形態である。

各地の小中学生がここで数泊し、その間、魚つかみ、天体観測、キャンプファイヤー、地元の人を先生とした竹細工などの工作教室など、様々な自然体験学習をして帰って行く。

一階の受付兼事務所で、管理・運営主体の明延振興事業組合理事長の田村新一郎さんに久々に会う。地元の電器店のご主人だが、閉山後いちはやく地元のリーダーの一人とし

#### 「坑内探検」元従業員が詳しく説明



て、鉱山会社や町役場との交渉などに走り回られた方だ。我々、調査計画スタッフとも何回となく話合った間柄である。明延地区がまがりなりにも再生へと進み出したのも、この人たちの努力の結果である。笑顔であいさつするだけで、互いの思いは通じ合う。

「半年で延べ7,000人の子供が泊って行きました」「これからは、自然学習のカリキュラムをもっと充実しなければ…」「私がこの学校の校長ということで子供たちに話をします」「明延で子供時代を過ごした人が、わざわざ泊まりに来てくれるんですよ」……田村さんの話はつきない。

帰りには、「ひとつよろしく」とパンフレットの束を渡された。この人たちは営業にもがんばっていることが分った。

#### 近代鉱山を生々しく感じる「坑道探検」

あけのべ自然学校のセールスポイントは、もちろん鉱山跡である。鉱山会社が坑道の一部550mを整備し、町が無償で借り受け、自然学校の子供たちに限って見学させている。

役場の人の案内で、特別に入れてもらう。坑道は岩肌がむき出したままで、暗い穴の中で電球が光っている。空気はひんやりとしていて、湿気を感じる。坑道沿いの窪みを利用して、あちこちにさく岩機、発破機、鉱山車両が展示されている。坑内作業の目的ごとに多様な専門機械が開発されていたことが分る。

#### 子供たちがやって来た！地区総出で出迎え



案内の方が、いちいちその名前と使用目的を説明して下さるが、とても覚え切れない。ただ、近代鉱山技術の成果に圧倒されるのみである。枝分れ坑道の入口部分や地下数百m（海面下にも至る）に及ぶタテ坑付近は、全て二重柵で守られている。「人間は一重だと破ろうという気にもなるが、二重にしておくで最初からあきらめるそうですよ」……柵の向うは真暗で地の底につながっている。

地底の世界では、近年ではベルトコンベアでは能率が悪いというので、らせん状などに地下道路を開削し、ダンプトラックが鉱石を積んで走り回っていたと言う。そんな説明を聞きながら、変に観光化せず、坑道にただ黙々と鉱山機械を並べただけということが、素人くさくて、かえって近代鉱山の気分を生々しく感じさせてくれると思った。

観光利用、キノコ栽培等の農業利用など、坑道利用を巡って様々なアイデアが、当時、飛び交った。とりわけ、観光鉱山という意見は誰れもが考えることでもあり、国の方も含めて強力だった。将来の話としてはともかく、当面はそんなことにはなりにくいだろう。役場や地区の人々と何回か話合った結論だった。

当時、我々はいくつかの角度から検討して、そうした結論に至ったのだが、今回、坑道を見せてもらってあることに気がついた。

明延の坑道はやはり“生々しい”のである。明延鉱山は、円高という経済環境の急変により閉山に追い込まれた訳で、いわば働き盛りが事故により命を終えたようなものである。山全体に無念の想いがただよっている。鉱山で暮らして来た人たちには楽しい思い出もあるかもしれない。しかし、閉山後、初めて明延を訪れた者にとって、以前の栄光を聞けば聞くほど円高閉山という出来事の無念さを印象づけられる。気楽に訪れる観光地にはなり

にくい。そうした地区のふん囲気が我々をして、観光化に駆りたててなかったのではないかと思う。

近くに観光化した生野銀山跡があることもあって、明延は、少なくとも最初の段階は、小中学生や明延をよく理解している人くれそうな人などゆっくりと宿泊滞在してくれる人に頼って、地区の再生を進めるのが適当であり、「明延鉱山」という他にない資源を生かす道だと思った。

ともかく、明延地区は、まわりの自然とともに、近代鉱山の様子と現在の状況を含めた人々の生き様から学ぶ場として再生の道を一步踏み出した。

「子供たちを集め事前に鉱山についての講義をします。そうすると、坑道に入った場合、何もしなかった時に比べて子供たちの反応が全く違うんですよ」一別れ際の自然学校の田村校長先生の言葉である。

（しげもと さちひこ）

〔明延自然学校〕〒667-04 兵庫県養父郡大屋町明延 TEL 0796-68-0258

#### 子どもたちの「坑内探険」



## 長田野よりの報告

山田 泰造

### はじめに

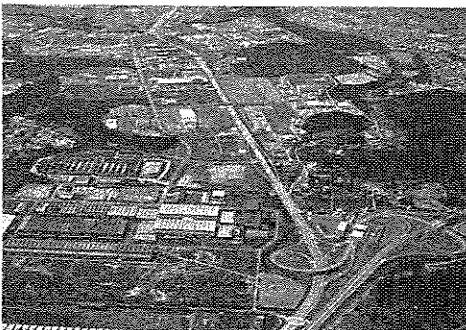
平成元年5月26日(財)長田野工業センター第16回通常総会に来賓として出席した京都府

企業局長は「本年工業用地 220.4 ha が完売となる」と発言し、出席者一同から大きなよめきが起りました。全員長田野開発事業の終結が近づき、平成元年を境として新しい時代が始まろうとしていることを痛感したのです。この30年にわたったプロジェクトの序章と終幕を振り返って見ましょう。

### 工業化への動き

昭和38年京都府は北部開発の根幹事業として福知山市東部に展開する長田野台地に我が国最大の 400～500 ha に及ぶ工業団地を計画し、地元福知山市も37年「工業化・10万都市建設」を表明していました。一方農林省は長田野台地に由良川の水を揚水し、開拓農家を畑作から米作へと転換をはかるため、37～38年は調査を、39年は事業を実施する手筈を整えていました。福知山市は38年夏、慎重熟慮のすえ遂に調査費の返上を申出しました。他方通産省は36年工場適地調査で長田野を適地に指定し、38年には全国の各府県に対し、内陸工業団地造成にあたっては起債を認めるという方針を示しました。府も長田野を申請すべ

### 長田野工業団地



きかどうか決定しなくてはなりません。当時の府の一般会計の予算は 300～320 億円という規模であり、長田野造成費は 150～200 億円見込まれます。企業進出の可能性、事業の採算見込など議論百出です。当時の京阪神の企業は名神の開通もあって滋賀県へ滋賀県へと堰を切ったように進出しています。だが遂に38年末、起債申請に踏切ったのですが、長田野工業化はこの両首長の決断によって第一歩を踏み出したといえましょう。

### 工業化の進展

39年長田野は多数の候補の中から起債該当団地に選ばれ、府は40年用地買収、44年都市計画事業決定、45年造成開始、同時に企業公募、49年工事完工式と一気呵成に事業を進めました。総面積 400.7 ha (工業団地 342 ha、住宅団地 58.7 ha) の我が国最大の内陸工業団地が誕生したのです。本格的なインダストリアルパークの代表例として大きく取り上げられ脚光を浴びました。そして平成元年に工業用地 220.4 ha (他に公共用地 122 ha) が完売となったのですが、事業実施以来25年の歳月が流れていました。

49年から15年間の推移を長田野工業センターの資料により要約して説明します。

15年間に従業員は953人から4,000人(4.2倍)に、出荷額は141億円から1,460億円(10倍)になり、平成元年では福知山市の出荷額の80%を占めており、また第1図では56年から生産性が順調に向上していることを示しています。この間2度の石油危機、60年からの円高を経験しましたが業績は向上を続け、世界的企業といって過言でない企業がいくつか生まれました。

また工業センターの調査では企業の建べい

率は23%であり、今後用地の有効利用によって操業度を高め、将来3,000億の出荷額は達成できると自信満々です。

**福知山市の変貌**

視点を少し広げて福知山市の変貌をごく簡単に述べましょう。指標を人口、出荷額、下水道、区画整理の4点に絞ってみますと、人口では造成工事を開始した45年が57,194人でしたが63年推定では66,745人と18年間で17.1%伸び、工業出荷額も45年170億円から63年では1,660億円へと約10倍に、また都市基盤整備度を示す下水道の総人口に対する普及度は45年の20%から63年59%へと3倍増、区画整理事業面積も45年22haから63年370haと17倍に、どの指標をとってみても人口以外、府下のどの都市より大きな伸率を示しています。市内は活気に満ち、ビル群の増加は目を見張るものがあります。さらに特記すべきことは63年4月待望の近畿自動車道敦賀線が吉川一福知山間開通し、平成3年春には舞鶴まで延長することです。長田野にインターチェンジが設けられ、名古屋から九州までの西日本全体へ、高速道による運輸体系が確立しま

した。長田野というエネルギー源を持った福知山市の活力は益々力強さを増してゆくでしょう。

**長田野開発事業の終幕**

昭和30年代から始まった長田野開発事業も平成元年6月で一つの区切を画することになりました。地権者1,200人、周辺12区の住民、中央官庁、京都府、福知山市その他の各機関の方々の深い理解と協力に支えられ、地域開発事業の典型として、多くの成果と波及効果を生みつつあります。綾部市では長田野を中核とする姉妹工業団地の造成が進み、元年10月26日には分譲を開始することとなりました。舞鶴港のコンテナ化によるソ連・東欧圏への輸出の増加、宮福線の開業等々数え切れないほどあります。

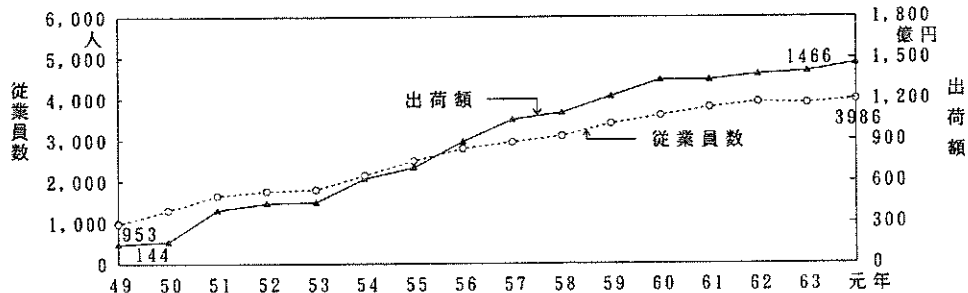
この事業に直接携った者の心の中には、この事業の終幕を迎えたとはいえ、いつまでも消えることのない熱い思いが脈々と波打っています。この30年間の熱闘を思い起し、各自の心の中に独自の記念碑を打建ていることでしょう。 (やまだ たいぞう)

第1表 15年間の推移

	立地企業		従業員		出荷額		住宅団地居住者				摘要		
	立地	対比	操業	対比	(含協力)	対比	(百万円)	対比	世帯数	対比		人員	対比
昭49	22		14		953		14,100		134		339		
54	26	118	23	164	2150	226	61,950	439	579	432	1,689	498	
59	38	146	33	143	3239	340	124,800	201	711	123	2,206	131	
平成元	44	116	38	115	3986	123	146,000	117	817	115	2,665	121	
元年/49	200		271		418		1,035		610		786		

(年次は4月1日現在。資料-長田野工業センター)

第1図 従業員数、出荷額一覧



## リゾート計画に思う

山口 繁雄

### はじめに

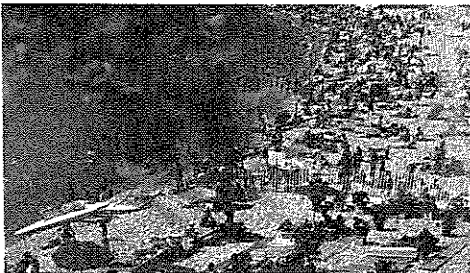
大変御無沙汰致しております。この度の組織体制の変更に伴い、京都事務所長に着任致しました。大阪事務所在任中は、色々と御世話になりましたが、今後ともどうぞよろしく御指導・御鞭撻の程をお願い致します。さて今日は、リゾートについて日頃考えていることをまとめてみます。

### 一般的なリゾート計画論

近年、我が国でも、豊かな生活を求めて、欧米なみのリゾート生活を実現しようという動きが活発に展開されています。リゾートに関するさまざまな本を見ますと、明るい太陽ときれいな海、デラックスなホテルと素晴らしいマリーナ、あるいは雄大な景色と瀟洒な別荘等々が紹介され、それらを創り出すことがあたかもリゾート計画の必須条件であるかのような印象を与えています。

確かに欧米のリゾートをみると、「海水浴場・マリーナ」「ホテル・リゾートマンション」それに「カジノ・コンサートホール」、等がいわばリゾートの『三種の神器』ともいえるべき基本的な機能になっているのではないかと思います。私も、実はかなりそう思っ

### リゾート地の海岸沿いの風景



ていたのですが、昨年度、ヨーロッパのリゾートを視察・調査した結果、それは必ずしも実態を正確に反映していないことに気がつきました。

考えてみれば当たり前のことですが、長期滞在をするヨーロッパのリゾート客が、毎日ホテルに泊まり、昼はヨットに乗り、夜はカジノに興じたりコンサートを聞きに行ったり出来る筈がありません。

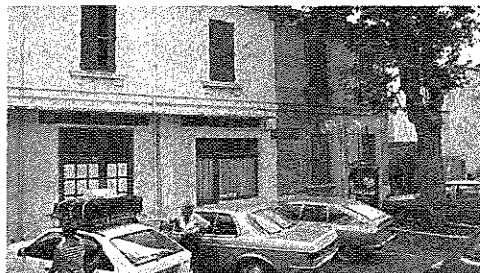
このことは、日本で考えても同様で、長期滞在をするとお金が掛かって仕方ありません。それでは、ヨーロッパのホテルは日本に比べて格段に安いのかといえば、それ程でもないし、ましてやヨーロッパ人の所得が日本人のそれより数段多いかといえば全くそんなことはないと思います。

なのに何故彼らヨーロッパ人は、長期滞在型リゾート生活を楽しむことが出来ているのでしょうか。どうもこの点にリゾート計画のポイントがあるように思います。

### ヨーロッパ人のリゾート生活の実態

この鍵を解くには、ヨーロッパ人のリゾート生活の実態を正確に把握しなければなりません。

### 簡易な宿泊施設



ここに次のようなデータがあります。これはフランスにおける現実のリゾート客の宿泊先を示したものです。それによると

親戚・知人宅	44.0%
キャンプ場・オートキャンプ場	19.5%
レンタル施設	16.6%
別荘	12.4%
ホテル	7.7%
その他	1.0%

となっています。これをみると一目瞭然ですが、ヨーロッパのリゾート客は、長期滞在をするために、その可能な宿泊施設を選んでいきます。逆にいえばヨーロッパでは、長期滞在の可能な宿泊施設が整備されているということが出来るかと思えます。勿論、リゾート生活は、階層によって大きな差異があると思われまので、上記の傾向は全ての階層に当てはまるものではありません。

そこで、南仏に定住している日本人のガイドの方にヒヤリングをしてみました。次表はそれをまとめたものです。

これをもても明らかなように、リゾートの『三種の神器』は、一部の金持ち階層に対応したものでしかありません。

### ヨーロッパにおけるリゾート客の動向

階層	リゾート生活	宿泊施設
若者	日光浴、海水浴 スポーツ ディスコ、バー	野宿、キャンプ 自動車
ファミリー	日光浴 イベント、夜店 ヨット	民宿、キャンプ 貸し別荘 貸しアパート
老人	日光浴	ホテル
高額所得者	ヨット コンサート カジノ	ホテル 別荘

#### 長期滞在の可能なリゾートづくり

国民の多くがリゾート生活を楽しめるようになるためには、我が国のリゾートづくりにおいても、『三種の神器』だけにこだわるのではなく、安価で長期滞在の可能な施設整備を検討していく必要があると思えます。そのためには、公的機関の役割が重要になってくるのではないのでしょうか。

あのラングドック・ルシオンでも、開発地区の中心部は確かに民間のエネルギーを活用してリゾートマンション等を整備していますが、その周辺部では公的機関によってキャンプ場等の安価な宿泊施設がかなり大量に整備されているのです。（やまぐち しげお）

きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況 きんきょう 近況

### 文化の仕掛人を訪ねて (その1)

高橋 光雅

地域の活性化には“産業おこし”が欠かせないテーマとされてきましたが、「腹の足しだけでなく、心の足しも」ということで、最近“文化”をテーマにした取り組みも多くみられるようになってきました。

#### 昔話の里トオノピアで

岩手県遠野市では、今年も『遠野物語ファンタジー』（＝「市民の舞台」）が上演され

ました。遠野物語の世界をモチーフに脚本から音楽・大道具・小道具・役者までの全てが400人近くの市民の手で創り上げられ、それを約3,000人の市民が鑑賞する一文字通り「市民の舞台」が今日まで14年も続けられてきているのです。

お会いしたのは、制作委員会事務局長の浜田栄一さんと市職員で事務局を務める松原久さん。「市民の舞台」の生みの親である浜田さんは当時は市の文化担当職員でしたが、異動でこの仕事ができなくなるのは困るという思いから退職、その後市議員を務めながら



事務局長の立場で「舞台」を支え続けておられます。その後任の松原さんは、現在社会教育課芸術振興係に所属していますが、職場のデスクより文化会館地下の事務所にいる方が多いとか。行政からの発案、主催でスタートし、第9回目から市民主体の「遠野物語ファンタジー制作委員会」に移行してきたわけですが、市民が中心となった文化活動でありながらも、行政の支援が「舞台」継続の大きな力となっているようです。

これまで回を重ねてくる中で、作曲編曲教室、アマ劇団、人形劇、木管アンサンブル、作曲グループ、少年少女合唱隊等の各種サークルが誕生し、また「市民センター パレエスタジオ」も開設されるなど、「舞台」がもたらした文化的波及効果は大きく、技術の向上もみられるようですが、「今のまま市民運動として続けていくのがよい。いろんな人が知り合えたのが大きな財産。舞台の経験が各地区での活動のエネルギーとなっている」と浜田さんは語ります。お話をうかがっているうちにいつの間にか事務所は、打ち上げ会に集まってきた今年の「舞台」参加者の人達であふれていました。

バッハホールのあるまちで……

田圃の中の音楽ホールで一躍有名になったバッハホールのまち、宮城県中新田町を私たちが訪れた時、町役場は町長の知事選出馬で揺れていました。ホール内の一室でお話をうかがったのは、バッハホールの運営を担当している文化振興係長の早坂仁さん。地元合唱団の鈴木啓之さんにもお願いしました。

合唱団の鈴木さんはバッハホールについて「自分たちの発表の場が欲しいと町長にも要望していましたが、これほどのものは想像もしていませんでした。最初は、一流のホールで歌えることに喜び、みんなはりきっていましたが、そのうち、音響が良くてゴマカシがきかないことに気付き、歌うのが怖くなって

きました」と語っています。

バッハホールでは年間15本の自主企画によるコンサートを企画しているそうですが、演奏家やプロダクションとの交渉のために早坂さんたちは英語やドイツ語もマスターしなければなりません。しかし、一方では専門職員の養成が必要とされるものの、行政としては人を固定することにも問題があるということから、数年で職場を変わってしまうため本腰をすえられないという悩みもあるそうです。

一流のホールに一流の演奏家を迎え、住民の中に高度な芸術文化を愛する人が増えること、町外からいろんな人が集まってきて交流すること——これが中新田町の活性化戦略のようです。バッハホールだけでなく、既にうらおいのあるまちづくりや経済的波及をねらった「鮎の里会館（レストラン、売店）」建設等が着々と進められています。お話をうかがった後、早坂さんに町内の蔵を改造してつくられた「縄文芸術館」「東北陶磁器館」「墨絵美術館」を案内していただきましたが、これらの施設の展示品は、ユニークなまちづくりを進めている中新田のファンとなった詩人の宋左近氏や東北大学名誉教授の芹沢長介氏、地元出身の画家河合敏雄氏から町に寄贈されたものだそうです。

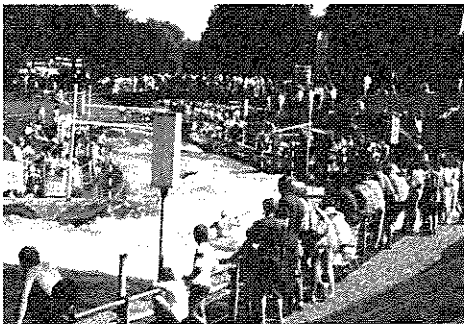
最後に、閉店時間の過ぎていた「鮎の里会館」に入れていただいた私たちは、バッハ饅頭、バッハ酒（地酒）などの土産を買い、中新田の町を去りました。見学・視察者も観光客としての役割を立派にもっているようです。（たかはし みつまさ）

人工カヌー・スラロームコース

小泉 春洋

今年の夏、会社の休みに合わせ、西ドイツのアウグスブルグの郊外にあるアイスカナルへ行った。このアイスカナルには、1972年の

### アウグスブルグの人工コース



ミュンヘンオリンピックに使われた人工のカヌー・スラロームコースがある。現在は、世界に3つの人工コースがあるといわれているが、このコースは世界で初めて建設されたものである。

アイスカナルの人工コースは、すぐ横を流れる川をダムでせき止めて、水をこの人工の水路に流すようになっており、長さは約500m、勾配もかなりきつくとってある。そして、上流にあるダム湖一帯は広大な公園となっており、周辺の人々が日光浴等のレクリエーションを楽しんでいる。

われわれが行った時期は、ちょうど西ドイツの長期休暇の時期にあたっていたためか、人工コースで練習している人の数も多く、1日に2〜3百人が練習しているように思えた。また、ダム湖へ通じる遊歩道ともなっているため散歩がてらに訪れる人も多く、コースの両サイドは芝生であり、ギャラリーにも恵まれ、カヌー練習場としては最高の場所である。

さて、このコースは、日本でカヌー競技を行っている川とは比べものにならないほど、水のパワーも強く、勾配も急で、落差も大きく、外国人との力の差をまざまざと見せつけられた気がした。日本人がいきなりこの人工コースの試合に参加しても、恐怖が先にたち、おそらく持っている力の半分も出せないと思われる。事実、日本の選手が国外の試合

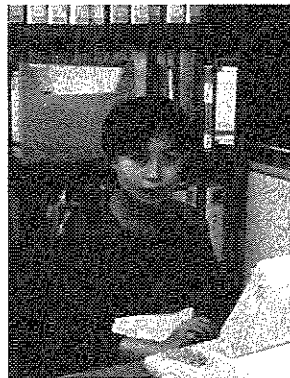
に出ても、外国の女子にも負けてしまうのが現状であり、日本選手のパワーアップとパワーの強い川での試合経験が、今後、必要であろう。(こいずみ はるみ)

## 新人紹介

九州事務所 竹下 法子

はじめまして、竹下法子と申します。

中肉中背、ショートカットで、丸顔、チャームポイントは大きな目の女の子です。アルパック



九州事務所のスタッフの仲間入りをしてやっと2週間が過ぎようとしています。友人・知人にアルパックの仕事内容を話しますが、話せば、話す程、皆、首をかしげます。「そんな夢のような仕事が、この世にある筈がない、ましてやそんな仕事を普通の女の子である竹下にやれる筈がない」といった眼で見るとです。

唯一暖かい声援を送ってくれるのは、私の大学のフランス語の先生です。先生いわく「この上もなく君のようにGrossièreな人にあつた会社はない、勉強のつもりで行ってきなさい」と。

今のところ、私も、このアルパックの将来に100%の希望をもっております。

注) Grossière 英語でいうところのラフなという意味だそうです。

(たけした のりこ)

## 新刊旧刊書評紹介

堺屋太一著  
文春文庫

## 「豊国論」

紹介 伊坂 善明

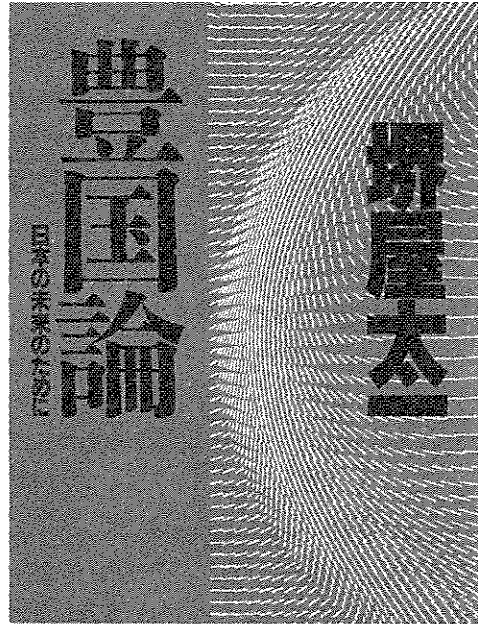
ある町の公園課の担当者は、こう嘆いていた。「町の公園面積は、国の目標基準まで整備してきたけれど、利用状況はすこぶる悪い。駐車場が一杯になるのは子供の日ぐらいの公園もある。有料の施設でも作らないと人は集まってこないのではないかと考えている。また、公園のとなりの住民からは、落葉が入ってくると文句を言われるし……」

このごろ、こんな話がよく聞かれる。その公園の位置が悪いのか、公園面積が増えてきたからなのかかわからないが、社会資本整備を叫ぶ国の方針にとって皮肉な話ではある。

そんな時に会ったのがこの本である。

筆者は「『社会資本の貧困』は実態知らずの『神話』」だと言い切る。「今や日本が世界一流の豊かな国になっていることは間違いない。しかもそれは、一般の世評に反してフローの面よりストックの面で著しい。ストックが貧しいという人たちは下水道、都市公園、道路などをあげる。ところが下水道や公園を整備しても利用率は低いし、公園をつくれば周囲の苦情があとを断たない」「住宅にしても兎小屋だと信じている人が多いが、持家率は高く、広さはアメリカに次ぐ大型住宅の国である」とも言っている。

たいへん「挑戦的」でもあるので読み進めると欧州と日本の公園論までも展開している。いわく、欧州の都市は城壁都市であり、敵の襲撃に対するため味方の援軍を呼ぶ「駐屯場所」が必要で、そこから「駐兵場」＝「パーク」＝「公園」となる。つまり都市の防衛上必要な施設であり、ここに都市住民が集まり、



「広場の文化」が興った。ところが、日本にはこうした必要性がなく、「通りの文化」が興ったという。お祭りも縁日も市も「通り」で行われるのが普通であった……。

いづれにしても先の公園担当者の話と通じる話である。

ただし、筆者がいたいのはこれで社会資本が十分だということではない。日本はいまや公共事業の開発効果が次第に低下してきており、「公共事業依存型の拡大によって、この国が直面する新『国難』～対外均衡の不均衡～を克服することは困難だ」ということである。

この本は、こうしたことなど対外不均衡の解消の手立てを述べた書である。経済に詳しくない人にも分かり易くかかれているので一読をお薦めする。 (いさか よしあき)

## まちかど

ニューヨークの  
ジェントリフィケーション

大河内 雅司

ジェントリフィケーションは「都市環境の  
アメニティー向上施策」とでも訳せるのでし  
ょうか、施策をめぐるニューヨークの近況を  
スケッチします。

開発を呼び込み、まちの外観を綺麗にして  
いくこの施策は家賃の高騰を生じ、街からホ  
ームレスや低所得者層を追い出しています。

ジェントリフィケーションによってアメ  
ニティーが向上したのは中・高所得者層だけ  
であり、麻薬、暴力、盗み、ホームレスの問  
題はさらに深刻になっているようです。

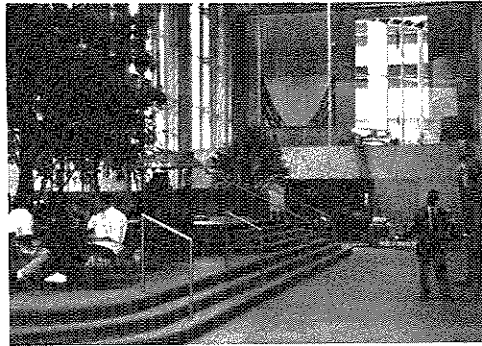
写真はフィリップモリス社ビルのパブリ  
ックスペースです。喫茶コーナー、芸術的な  
オブジェ、エアコンと快適そのものですが、  
だれもが自由に入れるわけではありません。  
トランシーバーを持った管理人が利用者を選  
別しており、入場制限付きのパブリックス  
ペースです。

階層を越え、多種多様な人種が共存し、  
その多様性が文化的なエネルギーの源であ  
った

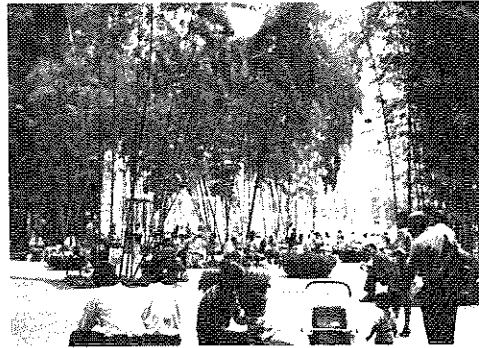
ビックアップルの姿は変わりつつあるよう  
です。

ニューヨーク初の黒人市長が誕生するの  
か、間近に迫った市長選が注目されています  
が、パブリックスペースに見られるよう  
な、ニューヨークの施策の矛盾がその背  
景にはあるようです。(おごうち まさし)

### 入場制限つきパブリックスペース



IBMビルのアトリウム



## アルパック (株)地域計画・建築研究所

ARCHITECTS, REGIONAL PLANNERS & ASSOCIATES, KYOTO

本社	〒600	京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町82 (大和銀行京都ビル8階)	TEL (075) 221-5132(代) FAX (075) 256-1764
京都事務所	〒540	大阪市中央区石町1丁目1番1号 (天満橋千代田ビル2号館)	TEL (06) 942-5732(代) FAX (06) 941-7478
大阪事務所	〒460	名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 (ツボウチビル2階)	TEL (052) 962-1224(代) FAX (052) 962-1225
名古屋事務所	〒402	東京都港区芝大門2-3-14 (一松ビル1号館402)	TEL (03) 437-3405(代) FAX (03) 437-3407
東京事務所	〒810	福岡市中央区天神1丁目15番1号 (日之出ビル6階)	TEL (092) 731-7671(代) FAX (092) 731-7673
九州地域計画 研究所			